

Q9 自己紹介のポイントは？

子どもたちの役に立ちたい気持ちはあるのですが、大勢の子どもたちの前で上手に自己紹介ができるかどうか不安です。



ポイント

自己紹介であがらない人なんていません。黒板に書くなど視覚情報も活かしながら、「笑顔で、ゆっくり、はっきりと」話せばいいのです。次ページのマニュアルもぜひご活用ください。

📌 誰でも緊張する自己紹介

初めての相手、特に集団に対して自己紹介することは、誰でも緊張するものです。「自己紹介が得意」なんていう人は、おそらく100人に1人もいないでしょう。ですから、あがって当たり前、上手にできなくて当たり前、失敗して当たり前です。あがりながら、つかえながら、顔を真っ赤にしながら、自己紹介すればよいのです。その時は笑われるかもしれませんが、子どもたちはそんなことであなたを軽蔑したりはしません。

📌 「笑顔で、ゆっくり、はっきりと」話そう

1つだけ覚えておいてほしいキャッチフレーズがあります。それは、「笑顔で、ゆっくり、はっきりと」です。

子どもたちに、「笑顔で、ゆっくり、はっきりと」話すことで、「みんなと仲良くなりたい」という気持ちが子どもたちに伝わります。お笑い芸人を真似たりして、下手に受けを狙おうとするとかえって失敗します。

📌 印象づけるためのちょっとした工夫

大人でも同じですが、耳で聞くだけで名前を覚えるのは難しいので、名前は必ず黒板に書き、漢字にはふりがなをふりましょう。また、「3年2組のみんなと……」などと固有名詞を出したほうが、子どもたちに「自分たちの仲間なんだ」と感じてもらいやすくなります。

自己紹介マニュアル

1 皆さん、おはようございます。(こんにちは。)

* まずは笑顔で挨拶から！

2 私の名前は、会沢信彦と言います。

* 名前はフルネームで言いましょう。

* 黒板があれば漢字（低学年の場合は平仮名）を書きます。

3 今日から、3年2組（〇〇小学校）で皆さんの勉強のお手伝いをすることになりました。

* 「このクラス」と言うよりも、「3年2組」と言ったほうが、子どもたちの親近感が高まります。

4 みんなが少しでも楽しく勉強できるよう、お手伝いができればと思っています。

* 子どもにもわかる言葉で簡単な抱負を述べます。

5 よろしくお願いします。

ワンポイントアドバイス

* 「笑顔で、ゆっくり、はっきりと」話しましょう。

* このマニュアルどおり話せば、必要最低限の情報は確実に伝わっています。したがって、失敗してもだいじょうぶです。



(子ども向け。対象が教職員の場合は適宜修正してください。)